

# 農業会議だより

第24号(令和2年3月)発行:一般社団法人佐賀県農業会議

1. 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催
2. 農業委員会女性協議会視察研修会を開催
3. 九州ブロック稲作経営者組織会員研修交流会を開催
4. 佐農人令和会第1回アグリビジネスセミナーを開催
5. 農業者年金の加入推進
6. 全国農業新聞の普及推進
7. 常設審議委員会の結果(1月、2月)
8. 行事予定

## 1. 農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催

改正農業委員会法の施行から4年目を迎え、本県では555名の農業委員・推進委員が農地法等の法令業務はもとより、農地利用の最適化の推進に取り組んでいるところです。

さらに、農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部を改正する法律が昨年5月に公布され、「人・農地プランの実質化」にあたって、農業委員会は「農地の効率的な利用に資する情報の提供」や「農業者と関係者による協議の場への出席」など市町へ協力することが法定化されました。また、令和3年度には農業委員会法の5年後見直しが控えており、農業委員・推進委員等の日頃からの「農地利用の最適化の取り組み活動」が重要となってきます。

このため、農業委員・推進委員が関係機関との連携をより一層密にし、農業委員会活動の活性化を図るため、1月22日に鳥栖市民文化会館において、「農業委員・推進委員研修会」を開催しました。

研修では、全国農業会議所事務局長の稲垣照哉氏から「農業を巡る情勢と農業委員会活動」と題して講演をいただき「5年後見直しを見据えた対応として、農地利用の最適化の実績が大切であること」、「人・農地プランの実質化に向けて、地域の農業者等の意向把握から、話し合い活動の実施、将来方針の決定までのプロセス」について説明いただきました。

このあと、伊万里市農業委員会会長の山口友三郎氏から、農地中間管理事業を活用した中山間地域の樹園地の「地域リレー方式」の事例発表があり、参加者からは「勉強になった」、「参考にしたい」との声が聞かれました。

「人・農地プランの実質化」並びに「農地利用の最適化」に向けて、農業委員と推進委員の皆様方の今後、益々のご活躍に期待が寄せられています。



## 2. 農業委員会女性協議会視察研修会を開催

佐賀県農業委員会女性協議会（会長：岩橋久美・会員37名）は、委員活動の活性化を通じ地域農業の発展を図るため、2月13日に視察研修会を行いました。

最初に、小城市の「粒屋（代表：中村津多子農業委員）」において、いきなり団子づくりを体験しました。中村委員は約20年前から6次化に取り組み、自家製の米や餅米を使った巻き寿司やおこわ、餅、団子等を直売所などに出荷されています。

また、「有限会社中村農産（水稻、麦、大豆、作業受託）」の経営者でもあり、地域担い手として農地の維持に貢献されているほか、農業簿記の指導や農業者年金の推進、郷土料理や加工品づくりの指導などの活動にも尽力されています。こうした取り組みにより、今年度の第46回佐賀農業賞・地域農業活性化の部（女性の活躍部門）において、優秀賞を受賞されました。

次に、佐賀市富士町の「つよし君のお野菜畑（代表：水田強氏）」の加工所を見学しました。水田氏は、農薬を使わない野菜本来の栽培を心がけられており、トマト、ほうれん草、ブルーベリー、トマトジュース、ジャムなどの生産・販売をされています。また、本来の野菜の味を知ってほしいと食育にも力を入れておられます。加工所では、防腐剤や添加物を一切使用していないトマトジュース「飲むトマト」を味わいました。

水田さんは、今後人口が減少する中、集落を盛り上げていくためには農業が元気でないといけない、そこにはやはり女性の力が必要であり、女性委員の活躍に期待しますと話されました。



「粒屋」でのいきなり団子づくり



「つよし君のお野菜畑」にて

### 3. 九州ブロック稲作経営者組織会員研修交流会を開催

農業会議が事務局を担当している佐賀県稲作経営者会議（青木安幸会長・唐津市）は、福岡県稲作経営者協議会との共催で「九州ブロック稲作経営者組織会員研修交流会」を、1月30～31日に佐賀市内で開催しました。これは、例年「福岡・佐賀稲作経営者組織会員研修交流会」として開催していたもので、会員や関係機関約70名が参加しました。



#### 講演テーマと講演内容のポイント

- ①講演：「営農組織の経営戦略」  
別府大学 専任講師 森宗一 氏  
—ビジネスは解決すべき問題の集合体で、目的・目標を明らかにして、すぐにできることから取り組む。
- ②講演：「米を取り巻く状況の変化と今後の展望とは？」  
(株)舞台ファーム 常務取締役 伊藤啓一 氏  
—劇的に変化していく社会の中で生産者も常に変化し、消費者ニーズを捉える必要がある。
- ③研修：「精米が食味に与える影響とは？」  
(株)サタケ調整機事業本部長 石川博巳 氏  
—生産者の精米は「削りすぎ」が多く、白米重量や水分重量のロス、ご飯品質の低下の原因となる。適切な精米によって、美味しい米を生産できる。
- ④講演：「消費者が求める農産物とは？～データで考えるこれからの販売の方向性」  
オイシックス・ラ・大地(株) 阪下利久 氏  
—ネット社会のこの時代で、米はネット販売ですごく売れる。SNS等を活用しながら、ブランド化や6次産業化で販路を拡大することも有効な手段。
- ⑤研修：「令和元年九州北部の水稻に及ぼしたフェーンについて」  
農研機構九州沖縄農業研究センター 柴田昇平 氏  
—不作の要因の一つとして台風によるフェーンが考えられる。フェーン予報に基づいて、深水管理や散水をすることによって、被害を抑えることも可能。

## 4. 佐農人令和会 第1回アグリビジネスセミナーを開催

佐賀県農業法人協会の若手メンバーで組織する「佐農人令和会(会員25名)」(事務局:農業会議)とJA佐賀信連の共催による佐農人令和会第1回アグリビジネスセミナーを2月7日に佐賀市内で開催し、会員や関係機関約45名が参加しました。



このセミナーをきっかけに“農業法人等のビジネスチャンス”につながることを目的に開催したもので、参加者は外食業界の今後の方向性や流通の現場から農業界に求めること等を学びました。

最初に福岡県筑後市で外食産業に特化した卸を担っている株式会社オリエンタルフーズ代表取締役の堤弘幸氏が「外食産業の方向性と外食卸からみた農業に期待すること」をテーマに講演されました。



堤氏は「パートナーにしたい経営者は、農産物に誇りを持っている」と述べられ、「若手農業者の皆さんにより一層、熱意を持って作物を育ててほしい」と強調されました。また、常に消費者を思い描くことが重要とも話され、「最後は人であり、今日のご縁を大事に」と呼び掛けられました。

さらに、株式会社オフィス代表の梅谷羊次氏に「農業の企業化に必要なこと～外食企業、業務用野菜流通の現場からの提言～」と題してご講演をいただき「生鮮品の商流では物流が品質とコストを決める」、「効率的な物流が高品質＝低コストを実現する」と語られました。

佐農人令和会の麻生朗会長(株式会社麻生園芸・唐津市)は、「本県の農業を引っ張っていけるように、セミナーで学んだことを今後の経営に活かしたい」と話していました。

## 5. 農業者年金の加入推進について

今年度の目標達成に向け、もう一押し！！  
**農業委員・推進委員の皆さま方お一人お一人の  
 ご協力をよろしくお願いします。**

今一度、加入対象者への声かけや戸別訪問の実施、集落座談会など農業者が集まる場でのPRをお願いします。

- ・40歳前の方には ⇒ 国庫補助を活用できるうちに、少しでも将来の備えを
- ・女性の方には ⇒ 夫婦それぞれが年金を掛ければ、長生きでも安心
- ・所得が多い方には ⇒ 節税対策として（家族で加入すればその分も所得控除できる）

☆年金額の試算表、チラシ・パンフレット、普及資材もご活用ください。（ご入り用の際は農業委員会事務局へ）



普及資材（キッチンラップ）

### ○ 令和元年度新規加入目標・実績 ○

(単位：人)

市町名	令和元年度		達成率 (%)	残り 確保数
	目標	4月～1月		
佐賀市	8	10	125	☆達成
神埼市	2	0	0	2
吉野ヶ里町	1	1	100	☆達成
鳥栖市	※1	2	200	☆達成
基山町	1	0	0	1
上峰町	1	0	0	1
みやき町	2	1	50	1
多久市	1	1	100	☆達成
小城市	3	2	67	1
唐津市	12	10	83	2
玄海町	※2	3	150	☆達成
伊万里市	5	3	60	2
有田町	※1	0	0	1
武雄市	1	1	100	☆達成
大町町	※1	1	100	☆達成
江北町	1	1	100	☆達成
白石町	8	4	50	4
鹿島市	4	1	25	3
嬉野市	4	0	0	4
太良町	3	1	33	2
合計	62	42	68	20



## 6. 全国農業新聞の普及推進について

### 「全国農業新聞」普及推進のお願い

3月 現在部数 **1,337部**

今年度も全国農業新聞の普及推進にご協力いただきありがとうございました。

「情報提供活動」は、農業委員・推進委員の役割です！！  
 全国農業新聞を普及することで農業者等へ情報を提供できます。  
 令和元年度の普及状況は、**申込89部**に対し**中止175部**で**86部の減**となりました。

令和2年度は、農業委員・推進委員による戸別訪問の徹底を！！  
 また、農業委員・推進委員改選市町は、退任委員の継続購読と新任委員の早期、皆購読をお願いします！

	市 町 名	30年度 実績 (H31.3)	元年度		3月			H31.3 ~R2.3 比較 増減	元年度 申込計	元年度 中止計
			目標 (R2.3)	必要 部数	申込	中止	部数			
1	佐 賀 市	216	236	20	0	0	203	-13	14	27
2	神 埼 市	75	86	11	0	1	74	-1	27	28
3	吉野ヶ里町	50	56	6	0	2	40	-10	8	18
4	鳥 栖 市	49	57	8	0	0	48	-1	1	2
5	基 山 町	21	25	4	0	0	21	0	0	0
6	上 峰 町	17	20	3	0	0	17	0	0	0
7	み や き 町	30	38	8	0	0	31	1	1	0
8	多 久 市	56	63	7	0	0	53	-3	2	5
9	小 城 市	82	94	12	0	0	73	-9	0	9
10	唐 津 市	152	169	17	0	0	143	-9	1	10
11	玄 海 町	34	38	4	0	0	29	-5	0	5
12	伊 万 里 市	85	96	11	0	0	76	-9	3	12
13	有 田 町	40	45	5	0	0	44	4	4	0
14	武 雄 市	86	100	14	0	0	81	-5	0	5
15	大 町 町	23	26	3	0	0	21	-2	1	3
16	江 北 町	56	60	4	0	0	51	-5	2	7
17	白 石 町	61	73	12	0	0	59	-2	3	5
18	鹿 島 市	70	80	10	0	0	71	1	18	17
19	嬉 野 市	71	82	11	0	2	65	-6	0	6
20	太 良 町	44	50	6	0	1	44	0	2	2
-	農 業 会 議	105	105		0	0	93	-12	2	14
合計		1,423	1,600	177	0	6	1,337	-86	89	175

## 7. 常設審議委員会結果(令和2年1・2月)

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構(佐賀県農業会議)に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議されました。

第46回、第47回の件数及び面積については、以下のとおりです。

〈農地法関係処理状況〉

○審議件数

第46回	1月15日	第4条	2
		第5条	3
第47回	2月17日	第4条	—
		第5条	3

○田畑別件数及び面積(m<sup>2</sup>)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第46回	1月15日	第4条	0	—	2	8,393	2	8,393
		第5条	2	8,230	1	3,960	3	12,190
第47回	2月17日	第4条	0	—	0	—	—	—
		第5条	3	16,757	1	43	3	16,800

## 8. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
3	16	13:30	グランデはがくれ	第48回常設審議委員会
	24	13:30	千代田館	農業会議理事会
4	14	10:00	グランデはがくれ	市町農業委員会事務局長会議
		13:00		市町農業委員会新任職員研修会
	15	15:00	グランデはがくれ	第49回常設審議委員会
5	15	13:30	グランデはがくれ	第50回常設審議委員会
	20	10:00	農業会議事務局	農業会議監査・役員会
	26	13:30	グランデはがくれ	第57回佐賀県農業委員会職員協議会総会・研修会
	27	13:30	グランデはがくれ	農業会議理事会
6	2	12:30	文京シビックホール	全国農業委員会会長大会
		18:00	東京グリーンパレス	国会議員への要請活動
	15	10:30	グランデはがくれ	第51回常設審議委員会
13:30		農業会議通常総会・臨時理事会		
8	26	13:30	白石町 ふれあい郷 自育館	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会

※5月～6月に「人・農地プラン話し合いコーディネートスキルマスター研修会」を予定